

YCU 第2クォータープログラム 派遣学生報告書

|        |                       |       |            |
|--------|-----------------------|-------|------------|
| 氏名     | R.T                   | 学部・学科 | 国際教養学部都市学系 |
| 学年     | 2                     | 派遣国   | スペイン       |
| 派遣大学   | サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学    |       |            |
| プログラム名 | Summer Spanish Course |       |            |
| 期間     | 2023年6月15日～2023年7月16日 |       |            |

(1) 授業や課題、演習はどのような内容であったか。(800字程度)

(可能な限り具体的に、印象に残った授業などの説明があるとよい)

授業開始初日のクラス分けテストをもとに、語学レベルごとにクラス分けが行われ、1クラスの人数は10名前後で授業が行われました。クラス分けテストは、筆記試験のあとに先生と一対一でスピーキングテストが行われ、自分にまつわることやなぜ留学をしたと思ったのか等を聞かれました。クラスメイトの内訳は、6月中は欧米圏から2週間の留学で来る学生が多くアジア人はごく少数でした。しかし、7月に入ると台湾や韓国などアジア圏から一斉に留学生が来て、半数以上がアジアからの留学生でした。留学生は英語圏から来た人が多く、休み時間や授業中ペアワークの際はスペイン語と英語を混ぜて会話することが多かったです。

授業は一方的な講義の形ではなく、生徒が発言しながら教科書をもとに進めていく授業でした。先生とコミュニケーションをとる機会がとて多く、教科書に載っている内容以外に会話で頻出する言い回しなどが身につきました。教科書の内容は主に単語と文法の力を伸ばすため、生活にまつわる事象を取り上げていました。授業内では先生とのやり取り以外にも、授業中にペアワークやグループワークが多く取り入れられていたため留学生同士の交流もありました。

授業は主に教科書に沿って進められ、2週間で3単元程進みます。2週間毎にテストが設けられて理解度を知ることができます。教科書の内容は、横市の授業と同様の基礎的な単元ひとつとっても、学べる語彙の数がとても多いと感じました。文法や語彙だけでなく、プロジェクトを使って文化を学ぶ時間が毎日あったためスペインやサンティアゴ・デ・コンポステーラにまつわる知識が増え、より現地での生活が楽しくなりました。

最も印象に残っている授業は、フィールドワークで市場へ調査に行ったことです。3人グループになり「なぜ市場に買い物にくるのか」「地域特有のチーズの種類は何か」等を現地の人にインタビューしました。午前中のみ営業しているという市場は多くの人で賑わっており、日本の市場とは違う雰囲気が新鮮で面白かったです。

(2) 授業を受けてどのような知識等が得られたか。(500字程度)

スペインに行った当初は、現地の人と会話をするのもままなりませんでしたが、授業で、生活で頻出の表現を学んだことにより現地でよく使われる挨拶や簡単な受け答えが難なくできるようになり、帰国直前には1人で買いものをしたりガイドツアーに参加できるようになりました。文法事項は何度も繰り返し学習し、単語も他の単語と関連付けて教えてもらえたことにより、深い理解に繋がりました。教科書では特に料理や買い物の際に使う会話や、交通機関を利用する際に使う表現が役に立ったと感じています。スペインの文化や食事はもちろん、南米やフィリピンなどスペイン語圏の国についても理解を深めることができました。スペインとその他のスペイン語圏の国の文化や食事の違いを学ぶことができました。

(3) 授業を受ける前・受けた後でどのように(気持ちなどが)変化したか。(400字程度)

授業を受ける前は単に興味本位で現地でスペイン語を学びたいと思っており、実際に授業が始まる前日は緊張していました。しかし授業が始まると新たな知識が増えていくことが楽しく、学んだことを何一つ取りこぼさないように復習をしたり、横市から同じプログラムで渡航した友人との会話にスペイン語を交えてみたりと楽しみながら全力で学習したいと思えるようになりました。授業でスペイン国内の地域について学んでからは授業のない週末を利用してスペイン旅行に行きました。また、他の国にも行ってみたいと感じるようになりました。後悔している点としては、渡航前に事前学習をしっかりと行っていくべきであったということです。日本で学習していたはずの内容が頭から抜けていたり、授業のスピードについていくのが大変な時があったので、渡航準備が忙しいとは思いますが、学習も怠らなく行うとより充実した学習ができると思いました。

(4) 今後どう生かしていくか。どのように学業を進めていくか。(300字程度)

留学前はスペイン語の学習を続けるか迷っていたのですが、今回の留学をうけて今後もスペイン語の学習を続けていきたいと感じました。また、受け身の姿勢ではなく自分から沢山発言するなど、積極的な姿勢で学習に取り組んでいきたいです。

YCU 第2クォータープログラム 派遣学生報告書

|        |                            |       |               |
|--------|----------------------------|-------|---------------|
| 氏名     | S.K                        | 学部・学科 | 国際教養学部・国際教養学科 |
| 学年     | 2年                         | 派遣国   | スペイン          |
| 派遣大学   | サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学         |       |               |
| プログラム名 | Summer Spanish Course      |       |               |
| 期間     | 2023年 6月 15日～ 2023年 8月 13日 |       |               |

(1) 授業や課題、演習はどのような内容であったか。(800字程度)

(可能な限り具体的に、印象に残った授業などの説明があるとよい)

初日に受けたテストの結果に基づいて、クラス分けがなされた。言語のクラスでは、文章を読みクラスメイトとディスカッションをしたり、リスニング問題を解いたり、プレゼンテーションをしたりするなど、教科書にそって問題を解いていく形式だった。私のクラスは特に課題が多く1日に多くて6つくらいの問題を解かなければならなかった。テストは二週間に一度あり、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの問題があった。また、文化のクラスでは、前半ではスペインの文化や政治体制について、後半の授業では音楽について学んだ。文化のクラスでは、テストや宿題はなかった。

特に楽しかった授業は音楽の授業である。先生が紹介してくれるスペインの曲をみんなで聴くのも楽しかったし、それぞれ紹介したいスペインの曲と自国の曲をクラスメイトにプレゼンする機会があり、スペインの曲だけでなく、いろんな国の曲を知れて、とても楽しかった。

言語の授業では、社会問題について扱う単元があり、それがとても印象に残った。スペイン語で社会問題について学び討論するということで、語彙が特に増えた授業だったと思う。また、日本での社会問題がスペインでも深刻な社会問題であったり、それがクラスメイトの出身国ではあまり問題ではなかったりして、それぞれの国の問題を知ることができた。様々な問題を解決するために働く自国の団体について調べ発表する授業では、私が所属している部活であるTEHsについて紹介し、SDGs達成のためにどのような活動をしているのかプレゼンした。スペイン語で自分の活動を紹介することができて、とても達成感があった。他の国での動物愛護団体や環境保護団体についても知ることができた。

また映画を途中まで見て、結末がどうなるのかをスペイン語で話し合ったり、映画の内容を要約して話したりする授業があり、そこではリスニングとスピーキングを同時に鍛えることができた。映画を見ながら楽しく学ぶことができたので、印象に残っている。

(2) 授業を受けてどのような知識等が得られたか。(500字程度)

接続法や過去未来など新しい文法を学ぶことができた。また、語彙が一番発達したと思う。私のクラスにはスペイン語を3年以上学んでいる人ばかりで、一年しか学んでいない私とは語彙力の差がとても大きかった。教科書に出てくる単語も難しいものばかりで最初は授業内容を理解することが難しいほどだった。教科書に出てくる分からない単語を全て調べ単語帳にまとめて覚えていったことで、語彙力をあげることができた。

また、口語的な表現やよく使う表現を学ぶことができた。現地の先生が日々使っている言葉を学ぶことができたので、スペイン語でのコミュニケーション能力をあげることができたと思う。この場面ではどのような表現が適切で、何が不適切であるかなど、微妙なニュアンスの違いも知ることができた。

さらに、スペインにはいろいろな地域の言葉があることを学んだ。私が通っていた大学がある地域はガリシア語が話されていて、道の掲示板や標識などが、私が学んできたスペイン語と少し違ったりしていた。授業ではガリシア語も少し教えてもらえたため、似ているようで少し違うスペイン語の方言の知識を得ることができた。

(3) 授業を受ける前・受けた後でどのように(気持ちなどが)変化したか。(400字程度)

授業を受ける前は、私が一年しかスペイン語を学んでいないということもあり、授業についていけるか、とても不安だった。文法面でもそうだが、特に語彙が少なすぎるのが不安で、最初の授業で先生に話しかけられた時は、知識不足と緊張が合間って何も答えることができなかった。

しかし、授業を受けていくうちに文法も語彙も増えていって、自分の単語帳に新しい単語が増えていくたびに、自分の語彙力が上がっていているようで、自信に繋がった。また、クラスメイトがとても優しく、わからない単語や表現があればすぐに教えてくれるし、私の話す速度が遅くてもゆっくり待って聞いてくれたので、最初はとても緊張していた授業も途中から安心して受けることができるようになった。最初の方の授業では単語を調べて意味を理解するのがやっとだったのが、最後の方の授業では、語彙が増えてことで調べる単語数が減り、自分の考えを試行する余裕が生まれディスカッションへの参加がスムーズになったのを感じて、達成感を得ることができた。

授業を受け終わった頃には、難しい授業を乗り越えてきた分、自分のスペイン語も少しは上達したと思ったし、日本に帰ったらもっとスペイン語の勉強を頑張りたいと思うようになった。

(4) 今後どう生かしていくか。どのように学業を進めていくか。(300字程度)

後期から始まるスペイン語の授業で、留学中に得た知識を存分に活かせるように、サンティアゴでの授業で学んだ文法や単語は定期的に復習して、忘れないようにしようと思う。授業では向こうですでに学んだ内容も出てくるかもしれないが、文法などはスペイン語で学んだため、日本語での説明もしっかり聞いて、復習するつもりで積極的に授業に参加したいと思っている。卒業するまでの目標は、スペイン語の検定試験 DELE に合格することなので、引き続きスペイン語の勉強を頑張りたいと思っている。

また、留学中に知り合うことができたいろんな国の友達と連絡を取り続け、スペイン語で

の会話を上達させたいと考えている。